（１２）　にんにく

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
1 春腐病 *Pseudomonas cichorii* *P.salomonii* *P.marginalis* pv. *marginalis* *Erwinia* sp.	1.連作を避ける。 2.排水を良好にする。 3.土入れの際、作物にできるだけ土がかからないようにする。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.コサイド3000は炭酸カルシウム水和剤（クレフノン）を加用する。 2.11～12月の間に１回の散布を行い、２月以降は定期的な散布を心がける。 3.土入れ後、マルチ被覆後、強風後などに薬剤を散布すると防除効果が高い。	発病前から	U18 M1 M1 M1 24･M1 24･M1 31･24 41･25 31･M1 M1･M1	バリダシン液剤５ コサイド３０００ Ｚボルドー ＩＣボルドー６６Ｄ （混）カスミンボルドー （混）カッパーシン水和剤 （混）カセット水和剤 （混）アグリマイシン－１００ （混）ナレート水和剤 （混）キンセット水和剤８０
2 葉枯病 *Pleospora herbarum* *Stemphylium* sp.	1.連作を避ける。 2.肥切れさせない。 3.被害茎葉は集めて処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.本病対象に冬期防除を実施しているところでは白色疫病の発生が少ない。 2.本病対象にジマンダイセン水和剤で防除を実施しているところでは、さび病の発生が少ない。	発病前から	7 M3 M5 3･M3 11･7 11･M5	カナメフロアブル ジマンダイセン水和剤 ダコニール１０００ （混）テーク水和剤 （混）シグナムＷＤＧ (混)アミスターオプティフロアブル
3 さび病 *Puccinia allii*	1.窒素質肥料の過剰や肥料不足等を避け、適切な肥培管理をする。 2.被害茎葉は圃場外で処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.アミスター20フロアブル、アミスターオプティフロアブル、ストロビーフロアブルは浸透性を高める効果のある展着剤は薬害のおそれがあるので使用しない。	発病期	3 3 7 11 11 11 39 M5 3･M3 11･7 11･M5	ラリー乳剤 オンリーワンフロアブル カナメフロアブル アミスター２０フロアブル ストロビーフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 ハチハチ乳剤 ダコニール１０００ （混）テーク水和剤 （混）シグナムＷＤＧ (混)アミスターオプティフロアブル
4 白絹病 *Sclerotium rolfsii*	1.連作を避ける。 2.被害茎葉は圃場外で処分する。 3.夏期に湛水可能な圃場は、高温時に20日以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。 4.輪作をする場合は、ナス科以外にウリ科、アブラナ科、マメ科などを犯すので（多犯性）、作物選定に注意する。 5.発病圃場では籾殻は使用しない。	土寄せ時	3 7	モンガリット粒剤 カナメフロアブル
5 アブラムシ類	1.圃場周辺の雑草処理を徹底する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.オルトラン水和剤、アディオン乳剤、マブリック水和剤20で防除しているところでは、ネギアザミウマの発生が少ない。	発生初期	1B 3A 3A 21A	オルトラン水和剤 アディオン乳剤 マブリック水和剤２０ ハチハチ乳剤
6 アザミウマ類	1.畦畔雑草を除去する。	発生初期	1B 1B 5 21A 28 34 34	トクチオン乳剤 オルトラン水和剤 ディアナＳＣ ハチハチ乳剤 ベネビアＯＤ ファインセーブフロアブル アベンジャーフロアブル
7 ネギコガ	1.ネギ類の周年出荷栽培を行っている地域では、各作型を計画的に栽培し、本種の生活環を断つ。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.オルトラン水和剤、マブリック水和剤20、モスピラン顆粒水溶剤で防除しているところでは、ネギアザミウマの発生が少ない。	発生初期	1B 1B 1B 3A 3A 4A 5 11A 11A 21A 28	トクチオン乳剤 オルトラン水和剤 ジェイエース水溶剤 マブリック水和剤２０ アディオン乳剤 モスピラン顆粒水溶剤 ディアナＳＣ フローバックＤＦ エコマスターＢＴ ハチハチ乳剤 ベネビアＯＤ

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

にんにく

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
8 チューリップサビダニ	1.15℃以下の涼しい場所で本種の増殖を抑制する。 2.割れた鱗球は区別して収穫する。	植付前	1B 30	ガードホープ液剤 グレーシア乳剤
		発生初期	1B	トクチオン乳剤
9 イモグサレセンチュウ	1.種子には必ず未発生地産のりん片を使用する。 2.収穫後は速やかに根を除去する。 3.除去した被害根は速やかに処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.土壌消毒方法はⅢ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2.ベンレートＴ水和剤20で防除を実施しているところでは、乾腐病の発生が少ない。	土壌消毒	8F 8F	バスアミド微粒剤 ガスター ド微粒剤
		植付前	1B － － M3･1	ネマトリンエース粒剤 ビーラム粒剤 ネマクリーン粒剤 (混)ベンレートＴ水和剤２０
		発生初期	1B	ガードホープ液剤